地域を守る!

▶地域との連携

地域の防災の拠点となっている

#### この取組のポイント

# 043

# 地域と一体になって、福祉避難所のあり方の検討や整備を推進

取組主体	従業員数	想定災害	実施地域
社会福祉法人心和会	95名	地震等	青森県

✓ 地域に利用しやすくなる 福祉避難所の整備

✓ 地域と連携した防災対策の実施

社会福祉法人心和会は、平成24年に地域と連携し「金浜療護園地域総合防災支援対策協議会」を設置し、福祉避難所のあり方の検討や整備を通して、福祉施設としての地域と一体となった防災制度の枠組み作りと運用に取り組んでいる。協議会において会則を定め、法人の施設の一部(約1,000 ㎡)を災害時福祉避難所として提供することを決定し、地域の災害時要配慮者の受入環境の向上に貢献する。

## 1 取組の特徴(特色、はじめたきっかけ、狙い、工夫した点、苦労した点)

### 地域と連携し、金浜療護園地域総合防災支援対策協議会を設置

- 東日本大震災では、特に、体の不自由な方々にとって苛酷で 救済の手が届かない被災状況があった。このことを教訓に、同 法人はこれまで培ってきた経験や経営資源を投入し、地域の 高齢者・障がい者といった災害弱者の方々を「福祉避難所」と して提供して救済することを使命と認識した。
- この実現のためには、地域の自然的条件、社会的条件を踏まえつつ、福祉避難所のあり方と地域連携の仕組みづくり、そして、同法人全体の防災制度の枠組み・運用との一体化が必要不可欠と考えた。



協議会の様子

• 平成 24 年 5 月、各地域リーダー(町会長、民生委員、消防団関係者)の代表と施設代表の 26 名からなる「金浜療護園地域総合防災支援対策協議会」を設置し、会則を定め、福祉避難所のあり方の検討や整備を進めることとした。

#### 福祉避難所のあり方の検討

- 福祉避難所のあり方については、協議会において、地域住民の要介護者の皆さんが災害発生時に避難できる場所として、同法人の施設の一部(約 1,000 ㎡)を災害時福祉避難所として提供することを決定した(平成 24 年 10 月 1 日より実施)。
- その後、青森市と平成25年2月に「福祉避難所の確保に関する協定書」を締結し、地域の災害弱者受入環境の向上に貢献している。
- 協議会と青森市指定双方の福祉避難所をすみ分けし、協議会の避難所の開設条件となる災害基準を緩和して、地域に利用しやすくしたことが特徴である。

#### 協議会で議論を重ね、防災対策を充実

- 協議会を 5 年以上開催し、その議論を踏まえて、防災マニュアル、災害時要援護者マニュアル等を整備し、要援 護者・付添人の参加も考慮しつつ地域と一体となった総合防災共同訓練の結果も踏まえて、点検・検証して改 善を行っている。また、以上の取組で積み上げた災害時要援護者支援のノウハウを地域社会へ開示している。
- これらの取組による成果は、次のようにまとめられる。
  - ① 支援マニュアルや法人の危機管理規程、防火マニュアルを包括的・一体的に整備したこと
  - ② 協議会と青森市指定双方の福祉避難所をすみ分けし、協議会の避難所の開設条件を緩和し地域に利用しやすくしたこと
  - ③ 訓練により、施設整備・備蓄物資等の点検が行われ、施設の安全と機能確保の改善につながったこと
  - ④地域との福祉避難訓練に地域関係者が参加し、要援護者・付添人・誘導係の三人が一組になって要援護

#### 国土強靱化

者支援の実践行動(防災教室の開催、備蓄食材の提供、訓練の反省会)に取り組んだこと ⑤地域との情報を共有するため、総合防災共同訓練や支援マニュアルの概要、要援護者名簿登録の自主的 調査票を盛り込んだ機関紙を地域に配布し、喜ばれたこと



訓練等の様子



要援護者名簿登録の自主的調査票

#### 2 取組の平時における利活用の状況

• 協議会等の運営を通して、平時から情報の共有や訓練、啓発活動、災害時の支援体制づくり等に取組、災害時要配慮者の支援体制づくりに努めている。

#### 3 現状の課題・今後の展開等

• 「BCP、BCM 態勢の充実・強化」、「協議会の開催や防災マニュアルの共通化を通した、一層の改善や、地域との情報共有化への取組(職員研修、共同訓練、防災教室等)の継続」、「法人の構築したノウハウを広く社会に開示する機会の創出」等に取り組む。

#### 4 周囲の声

• 自社における BCP の取組のみならず、地域において、災害時の人命安全のために尽力していること、自社の知識 や経験を他の福祉施設等と共有し、同じ志を持った福祉施設をリードして地域の災害対応力向上に貢献している 活動は大変価値のある、素晴らしい活動です。(危機管理の専門家)

#### 担当者の声

#### 地域社会では、社会福祉施設も重要な一員であるため、一体となった防災対策を推進します。



- 今後とも継続的な総合防災共同訓練や防災制度の点検・改善を通して、できるだけ多くの地域参加者を定着させていきます。
- 職員研修や東北ブロック等防災広域連携、先進事例等新たな課題にも目を向け、福祉避難所が心の拠り所となるよう、実効性のある防災対策を地域連携のもとに取り組んでいきます。

問合せ先

社会福祉法人心和会 法人番号:4420005000370 TEL017-739-7208FAX 017-739-4077 E-Mail kinryo@isis.ocn.ne.jp